

## 今日のみ言葉 266 「人を養うのはあなたのみ言葉」 2017.01.18

人を養うのは、さまざまの収穫物ではなく、信じる人を守るあなたの御言葉である。 (旧約聖書続編 知恵の書 16 の 26)

O LORD, that it is not the various kinds of fruits and crops that nourish man,  
but it is your word that preserves those who believe you!

私たちを養うのは、さまざまの収穫物であり、そこから造られる食物であるということは、だれでも知っている。

私自身、大学で生化学専攻のコースであったから、食物がいかに体内で化学変化していくか、生体のエネルギーはどのようにして取り入れた食物から生じるのかなど学んだが、ここにあげた言葉のような内容は、聖書の世界を知らされるまで全く考えたこともなかった。他の学生たちも同様であろう。先生方もこのようなことはもちろんひと言も語ることはなかった。

体を支える力、エネルギーというものは食物からえられる。しかしいくら豊かな食物を食べても、心が清く、愛や真実に満ちた状態にはならない。貧しくてとても栄養的に貧困であっても、そうした純真さや愛が見られることがしばしばである。

日本では戦前と最近とを比べるなら、比較にならないほど、食物は豊かになったが、心の真実や愛、あるいは勇気、正しいことへの力、忍耐力などはより豊かになっているとは到底言えない。

そのような心の栄養となるのは、神の言葉である。

キリストは、これと同様な言葉を言われた。

「人はパンだけでは生きられない。」

神の口からでる一つ一つの言葉で生きる」 (マタイ福音書4の4)

神の言葉とはそれほど不可欠なものであるから、神は人間を取り巻く至るところで、神の言葉から直接に創造されたものを数知れず置かれた。それが天地至るところにひろがる自然である。そうした大空や大地や山々、また海のひろがりや草木一切は人間が作ったものでなく、神の創造によるものであり、神の言葉の別の表現である。

そしてそうした周囲に「自然」という言葉が配置された上で、どのような状況にある人でもわかるように、人間が理解できる言葉で、神のご意志をあらわされ、それが聖書となって万人を導き、生かし、またあらゆる悩みや苦しみをいやすものとなってきた。

…主よ、彼らをいやすのは、薬草や塗り薬でなく、すべてをいやすあなたの言葉であった。  
(旧約聖書続編「知恵の書 16 の 12、26」より)

日々を生きるための力も、また日常さまざまな病にあつてそれを根本的に一魂のいやしにまで至るほどにいやすものは、神の言葉なのである。

\*\*\*\*\*

野草と樹木たち エゾノハクサンイチゲ (蝦夷の白山一花) 大雪山(黒岳) 2016.7.20 撮影

雨上がりの大雪山系黒岳の頂上近くなつたところで咲いていた花。これは、本州中部地方の高山にみられる ハクサンイチゲ(白山一花)の北海道や東北、サハリンなどの高山に分布する変種。遠くに、雲が晴れていく山々を展望しつつ、純白の花の群生を目にしていると、これらの花々はこのような澄みきった環境できびしい冬の寒さや風雪に耐えて生き延びてきたことを思い、その花の白さが心に沁みてきます。



白い花びらのなかに黄色い雄しべが見るものに語りかけるようなやさしさがあります。

平地の野草とちがって、こうした高山の白い花は、高潔な感がただよい、見る者をして、地上世界の汚れから引き出してくれるものです。

白—それは聖書においても罪の汚れなき状態をあらわすものとしてあらわれます。

キリストが自分の最後が近づいたときに、高い山に3人の弟子だけを伴ったとき、その姿は稲妻のように輝き、衣は雪のように白くなったことが記されています。(マタイ 28 の 3)

また、迫害され死に至った人たちは、天の国にて復活し次のようにキリストとともに生きるものと変えられるのが示されています。

「彼らは、白い衣を着てわたしと共に歩く。勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。

わたしは、彼の名を決して命の書から消すことはない… (黙示録 3 の 4-5)

どのような教養や学問、経験もあたえることができないもの—それはここに記されているような、清められること、罪からの赦しと清めです。

北国の高山に咲くこの花は、そのような清められた世界を指し示しているように感じるので

(文、写真とも T.YOSHIMURA)